

天草家保通信平成25年9月号

〒863-0002 天草市本渡町本戸馬場1706-3

電話番号 0969-22-3668 FAX番号 0969-24-4393

ホームページアドレス <http://www.pref.kumamo.jp/site/amakusa-1219>

電子メールアドレス amakusakaho@pref.kumamoto.lg.jp



家畜伝染病対策連絡会議が開催されました



南本農林水産部長挨拶



車両消毒実演の様子

去る9月3日に天草広域本部にて天草地域家畜伝染病対策連絡会議が開催されました。当日は県職員、市町、農協職員をはじめとして、警察署や建築業協会など、万一家畜伝染病が発生した際に協力体制を構築する関係者約120名が集まりました。

会議では、はじめに悪性伝染病である口蹄疫と高病原性鳥インフルエンザの症状及び防疫対応について家保から説明し、次に発生した際の関係機関の連携体制について農業・普及振興課より説明がありました。当日は台風の影響であいにくの雨模様でしたが、会議終了後は車両消毒の作業実演を行い、消毒ポイント設営の具体的なイメージができたのではないかと思います。

万一悪性伝染病が発生した際には、農場での対応以外にも車両通行規制や消毒ポイントの設営が必要になり、畜産関係者だけでの対応は不可能です。

有事の際には各機関が連携して迅速な防疫対応を行い、蔓延を防止する必要がありますので、各機関の皆様におかれましては今後ともご協力お願いいたします。

毎月20日は「くまもと家畜防疫の日」



植物中毒について

家畜共済統計によれば、牛の中毒による傷病件数は毎年1000件程度報告されており、報告されていないものも含めると更に多いと考えられています。植物中毒に関して言えば、普通は放牧している牛が中毒原性植物を自ら食べることはありませんが、飼養者が刈り取った青草の中に混入していた場合は気づかずに食べてしまうことがありますので、青草を給与される際には混入に十分注意してください。今回は家保周辺で見つけたうちのいくつかを紹介します。



ソテツ
サイカシンを含み、発症した牛は衰弱し腰部の麻痺や跛行を呈します。



ワラビ
プタキロシドという成分により、反芻動物は骨髓の造血機能低下や膀胱腫瘍を引き起こします。症状が現れるのは摂食後2～8週間と言われ、重症の場合は発症後1～3日で死亡します。



ツツジ
グラヤノトキシンを含み、迷走神経を麻痺させます。採食後数時間で発症し、嘔吐や泡沫性流涎を起こします。致命率は高くはありません。



カタバミ
中毒性物質としてシュウ酸を含み、乾物重量の10%摂取により、流涎、胃腸炎、下痢、筋肉の振戦など。最近では中毒の報告はありません。

近隣諸国における悪性伝染病発生情報

病名	発生地	発生日	畜種	型
口蹄疫	中国	8月 5日	牛	A
		8月 5日	牛・羊・山羊	O
		8月10、19日	牛	A
	ロシア	8月 8日	牛・羊	A
		8月16日	牛・豚	A
高病原性 鳥インフルエンザ	インド	8月 5日		H5N1
	カンボジア	8月12日	家きん	H5N1
	イタリア	8月20日		H7N7
低病原性 鳥インフルエンザ	台湾	6月19日		H5N2
		7月 3日	家きん	H5N3
	オランダ	7月31日		H7
狂犬病	台湾	継続発生中	イタチアナグマ	

2013年 9月1日現在

通報

家畜の異常を発見された場合はご連絡ください。
天草家畜保健衛生所 電話番号0969-22-3668